

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	社会医療法人 名古屋記念財団
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市天白区平針四丁目 3 0 5 番地
工場等の名称	名古屋記念病院
工場等の所在地	名古屋市天白区平針四丁目 3 0 5 番地
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	一般病院
計画期間	2022/4/1 ～ 2025/3/31

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	2024/7/31 ～ 2024/10/29		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 総合案内
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	0 5 2 - 8 0 4 - 1 1 1 1		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

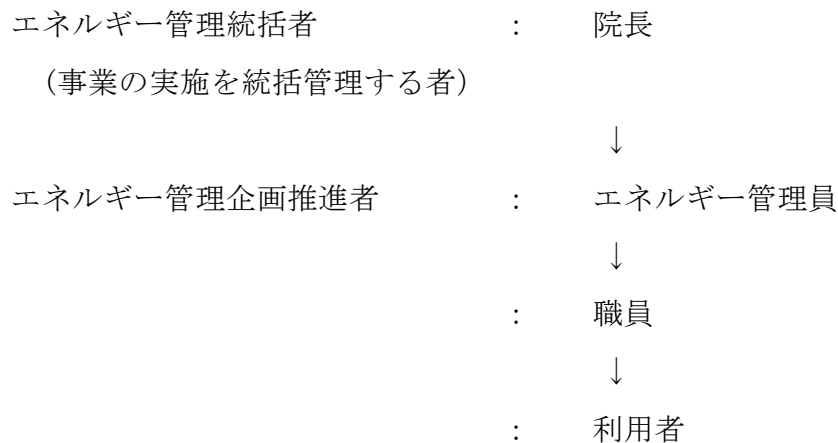
(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

〈基本理念〉
——地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し 持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。また 事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守し、病院施設における地球温暖化対策を推進します。

〈基本方針〉

1. 全職員が 環境保全の重要性を認識し、環境保全活動に努めます。
2. 法規制の厳守並びに汚染の予防と継続的な環境負荷の低減に努める。
3. 各種活動によって生じる環境への影響を考慮し、環境目的及び環境目標を定め、定期的な見直しを実施し、継続的な改善を推進し、環境汚染予防に努める。
4. 利用者（患者・家族・見舞者等）へ病院における地球温暖化対策計画の周知を図る。
5. 医療環境を低下させることなく、病院施設における地球温暖化対策を推進する。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,691	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガス 素換排 算）出 量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1,691	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量	1,756	t-CO ₂	1,704	t-CO ₂	1,730	t-CO ₂	1,691	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	1.5	%	3.8	%	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの 排 出 量									
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
原単位あたりの みなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

コロナ禍の来院者数減少も影響し、エネルギーとしては前年度より改善した。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	◆LED誘導灯、LED器具等への更新を促進する。	◇計画期間中にLED誘導灯・LED照明器具の更新を推進します。 (令和6年度内までに500灯)	昨年度で250灯LEDへ更新を行った。
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	◆老朽化した空調機は、高効率インバータ形への更新を促進する。	◇計画期間中に老朽化した空調機の更新を目指します。 (年間15台 令和6年度までに45台)	昨年度は13台更新を行いました。
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	◆空調効率を改善するために、室外機ミスト散布を実施し、冷房対策を行う。 ◆室外機周辺に日除けネットを敷設し、空調効率を向上させる。	◇日除けネットやミスト散水設備による冷却効果を高めると共に水の使用量を抑える為の設置方法や設置場	昨年度も引き続き実施している。
#REF!	#REF!	#REF!	昨年度も引き続き実施している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・衛生設備	◆ガス空調機器やガス焚ボイラーは 空気比の改善を徹底し改善に努める。	◇蒸気ボイラーや吸収式冷温水発生器等のガス機器は 定期的に空気比の管理を行い、適正な運転になるよう	昨年度も引き続き実施している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・衛生設備	◆ガス焚蒸気ボイラーを熱源機器とする給湯設備は 貯水槽廻りのスチームトラップや温度調節弁を点検及び整備をする。	◇スチームトラップは 蒸気の内漏れや詰まりによる凝縮水の排出不良による効率低下を防ぐため機器の定	昨年度も引き続き実施している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・衛生設備	◆ガス空調機器やガス焚ボイラーは 設定温度管理・運転時間管理を徹底し改善に努める。	◇蒸気ボイラーや吸収式冷温水発生器等のガス機器は 運転時間削減や運転負荷軽減を目的として、患者サ	昨年度も引き続き実施している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	◆ヒートポンプ式空調の温度設定は、病院職員に対し地球温暖化対策の普及啓発を行う。	◇ヒートポンプ式空調の温度設定は、病院職員に対し省エネルギーの必要性省エネルギー対策の効果を示すこ	昨年度も引き続き実施している。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--